制服・体育着 × KANKO

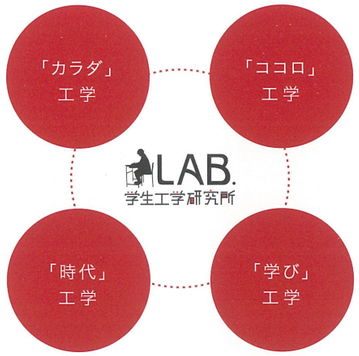
子どもたちにとって、制服・体育着はどんな存在だと思いますか？

多感な時期を過ごす子どもたちの、もっとも身近な存在として、成長と思い出に寄りそい、夢と学びを応援していく制服・体育着。だからこそカンコーでは、あらゆる面で品質を追求し、衣服としての機能の先にある価値をお届けしています。

カンコー品質

開発、提案、ものづくり、サポート。そのすべてに、カンコー品質を約束します。

カンコーは、子どもたちにとって最適な価値を探求するために、「カラダ」「ココロ」「時代」「学び」という4つの視点から、学生工学の研究に取り組んできました。この研究を核として、開発や提案活動、ものづくりの品質を高め、さらには、子どもたちや先生、保護者の皆様とかかわるすべての接点において、カンコーならではの品質を貫いています。



学生工学研究所

子どもたちの快適な学びにつながる価値を生み出しています。

10年以上にわたって続けてきた学生工学の研究をさらに発展させ、子どもたちにより快適な学びを提供していくために、2013年、学生工学研究所という専門機関を設立しました。日々、さまざまな調査・分析を重ね、未来の価値を生み出しています。

学会参加や産学連携の取り組み

学術研究団体への参加・発表

学生工学の研究成果を、日本の衣料における学術的な発展にも役立てるため、学術研究団体への参加・発表を積極的に行っています。

信州大学との共同研究・開発

信州大学と連携し、体育着の動きやすさや快適さを研究。さらに、金哲彦氏の監修のもと、正しいランニングフォームが身につくシャツを開発しています。

新しい価値の創造

ストレスを軽減する制服

子どもたちの勉強する姿勢や日常動作を調査し、軽くて動きやすい「アクティブブレザー」をはじめ、ストレスの少ない制服の開発につなげています。

一人ひとりに合う体育着

約1万人の子どもたちの体型データを分析。さらに、運動時の皮膚や関節の変化も研究し、一人ひとりにぴったり合う、快適な体育着を追求しています。

子どもたちを見つめた先に、本当の価値があります。

> 開発本部 学生工学研究所　部長　原田 季典

子どもたちの夢や学びを支えるために、本当に価値あるモノやコトを開発したい。日々そんな想いで、研究に取り組んでいます。その成果のひとつが、生徒たちの姿勢や日常動作を調査して生まれたストレスフリーシリーズ。着心地と動きやすさに驚いてもらえます。

LAB. 学生工学研究所

一貫生産・品質管理

国内の自社工場から、質の高いユニフォームをお届けします。

> 生産技術部 部長　岩元 勝一

18の自社工場で、アイテム別の一貫生産を行っているカンコー。国家検定や技術習得セミナーを通して一人ひとりが着実に技術を磨ける環境を整え、業界トップの技術力を養っています。設計開発者、技術指導員、縫製機械の整備担当員など、多彩な技術者を育み、どの生産工程においても高い品質を追求しています。

徹底した品質管理

厳しい管理規定を設けた工場で、ISO9001の運用を活かした「安心と安全の提供」を目指しています。折れ針は完全復元を行ってから生産を再開する、交換針は現品交換を行い、本数を管理するなど、徹底した安全管理のもとで生産を行っています。

40年間、一着、一着。自分の子どもに服を縫うように。

> 米子工場　吉良 美子

入社してすぐに縫製の魅力に引きこまれ、気がつけば40年。制服のデザインが多様化し、実は昔よりも手仕事の重要さが増している今。いかに美しく仕上げるか、今日も一着ごとに真剣勝負です。

「カンコー品質」と「一貫生産」は、数字にも表れています。

- 自社・国内日産量 約2.5万枚 国産衣料の5.7%をカンコーが縫製（業界No.1）
- 18の自社工場でアイテム別に一貫生産 自社・国内縫製比率90.4%（業界No.1）
- 10年連続 10,000校以上の納入実績

※自社調べ